

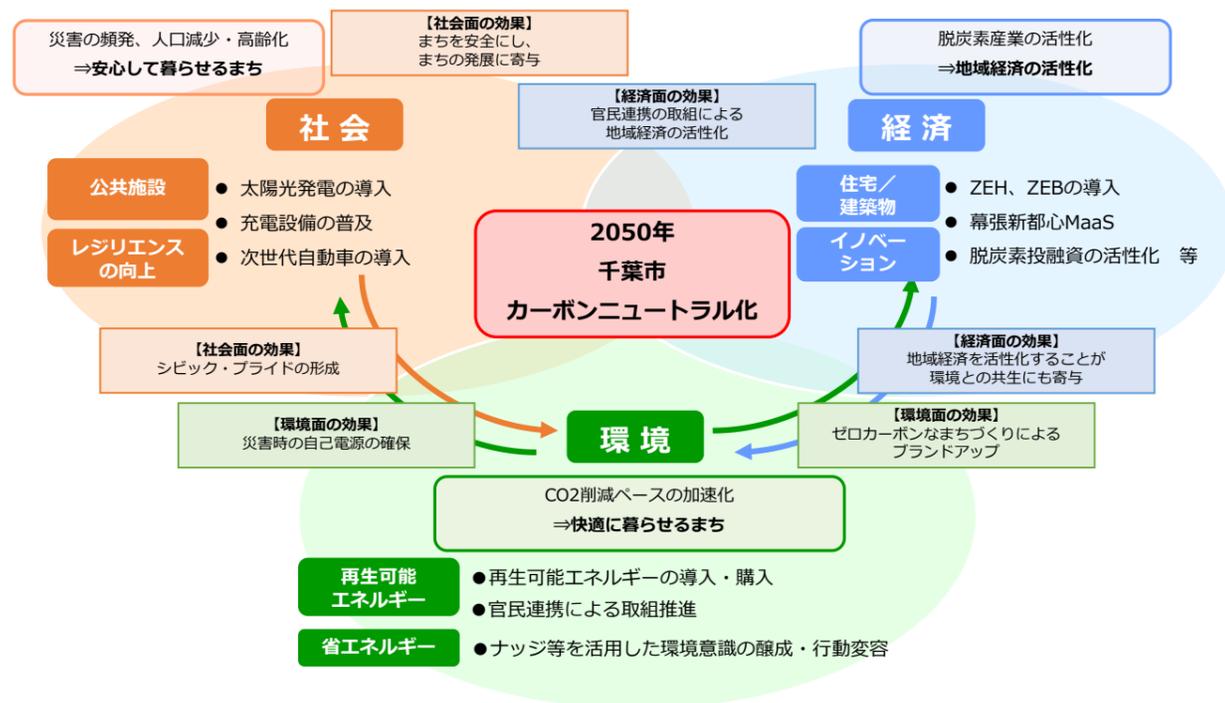
(仮称) 千葉市地球温暖化対策実行計画(原案)の概要

1 計画策定の趣旨

国の「地球温暖化対策の推進に関する法律」(2022年4月施行)においてパリ協定・2050年カーボンニュートラル宣言等を踏まえた基本理念の新設及び地方公共団体実行計画において施策の実施に関する目標を定めること等が追加されたこと、また千葉市においても「千葉市気候危機行動宣言」の中で、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととしたことを踏まえ、新たな実行計画を策定する。

2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを長期目標とし、環境、経済、社会の統合的発展に向けた施策を位置づけ、「環境と経済の好循環」及び「環境とレジリエンス向上の同時実現」を図りながら、まちのカーボンニュートラル化を目指す。

《千葉市における地球温暖化対策の推進による環境・経済・社会の統合的発展(イメージ図)》



2 計画期間と数値目標

- (1) 計画期間 2023年度から2030年度まで(7年間)
- (2) 基準年度 2013年度
- (3) 目標年度 2030年度(中期目標年度:2040年度、長期目標年度:2050年度)
- (4) 削減目標
 - ・ 長期目標達成に向け、バックキャストの手法により、目標年度及び中期目標年度の目標を設定する
 - ・ 2030年度の温室効果ガス排出量について、業務部門、家庭部門、運輸部門の3部門合計で、2013年度比40%~50%以上削減
 - ・ 2050年度の温室効果ガス排出量実質ゼロ

3 6つの柱と基本施策

6つの柱により、「環境と経済の好循環」、「環境とレジリエンス向上の同時実現」を図り、脱炭素社会に向けたまちづくりを進める。

《6つの柱と基本施策》

柱	2050年のあるべき姿	基本施策
柱1: 使用エネルギーのカーボンニュートラル化	あらゆるエネルギー消費が最適化されたまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネルギーの徹底 ・ 再生可能エネルギーの導入 ・ 再生可能エネルギーの購入 ・ 未利用エネルギーの活用 ・ 二酸化炭素吸収量の維持
柱2: モビリティのゼロエミッション化	クリーンで快適な交通環境が実現したまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEVの導入 ・ 充電・水素充填設備の普及 ・ 公共交通等の利用促進
柱3: 住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化	サステナブルで快適な生活空間を過ごせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅のネット・ゼロ化 ・ 民間建築物のネット・ゼロ化 ・ 公共建築物のネット・ゼロ化
柱4: 市役所の率先行動	公共施設がネット・ゼロ化されているまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の脱炭素化 ・ 公用車の電動化 ・ 事業系施設における脱炭素化 ・ 職員の率先行動の徹底
柱5: 気候変動への適応	気候変動に適応し、イノベーションを創り出すまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害への対応 ・ 健康への対応 ・ 水環境・水資源の保全 ・ 良好な都市環境の維持 ・ 自然生態系の保全 ・ 農林業等における対応
柱6: あらゆる主体の意識醸成・行動変容	環境に寄り添うライフスタイルが広がるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱炭素投融资の活性化 ・ 環境意識の醸成・行動変容 ・ 環境教育の推進 ・ 官民連携による取組推進 ・ DXの推進 ・ ごみの削減

4 今後の予定

- 令和4年 11月 地球温暖化対策専門委員会
- 令和5年 1月 環境審議会環境総合施策部会(答申)
- 2月 パブリックコメント
- 3月 計画策定、計画冊子作成・公表